

報道関係 各位

2018年7月8日
株式会社日本レースプロモーション

7月7日(土)～8日(日)
2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 富士スピードウェイ
決勝結果速報

ニック・キャンディ(コンドー レーシング)が、ポール トゥ ウインで初優勝を飾る！

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第4戦の決勝レースが富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で行われ、ポールポジションからスタートしたニック・キャンディ(コンドー レーシング)が、スーパーフォーミュラでの初優勝を飾りました。

曇天の蒸し暑い中での決勝となりました。ポールポジションのニック・キャンディ(コンドー レーシング)は、スタートからそのまま第一コーナーをクリアしていきますが、予選2位の山本尚貴(チーム・ムゲン)は、好スタートを切った石浦宏明(ジェームス ピーエムユーセルモインギング)と関口雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)にパスされ4位に順位を落とします。

レース序盤は、キャンディ、石浦の2台が先行する展開となります。しかし、この2台の前にミディアムタイヤからソフトタイヤに交換した集団がコースに復帰してきたため、そのまま我慢の周回を強いられます。

35周終了時、キャンディがソフトタイヤからミディアムタイヤへの交換のためピットインするタイミングで、石浦はプッシュをかけ、キャンディとの見えない距離を詰めます。その石浦は、40周終了時にソフトタイヤからミディアムタイヤに交換してコースに復帰しますが、キャンディの前に立つことはできず先行を許してしまいます。

その結果キャンディは、そのままゴールして、ポール トゥ ウインで初優勝を飾りました。石浦は、2位に入り、3位にはレース序盤でミディアムタイヤからソフトタイヤに履き替えプッシュを重ねた国本雄資(ジェームス ピーエムユーセルモインギング)が入りました。

これによりキャンディは、ポイントランキング首位を走る山本尚貴に1ポイント差に迫る2位となりました。

次戦、第5戦ツインリンクもてぎ大会、8月18日(土)に予選、19日(日)に決勝レースが開催されます。

*記録 詳細、別途添付の公式通知「決勝正式結果表」をご参照ください。



ポールトゥウインの初優勝を飾った、ニック・キャンディ(コンドー レーシング)

公式予選

Q1 (20分間) 上位14台がQ2に進出。15～19位の順位が確定。

Q2 (7分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (7分間) 1～8位の順位が確定。

・セッションの間のインターバルは各10分

・ノックアウト方式の名称は、予選で好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

※Q1=ミディアムタイヤのみ使用可能。

※Q2、Q3=ソフトタイヤ、ミディアムタイヤの使用が可能。

決勝レース

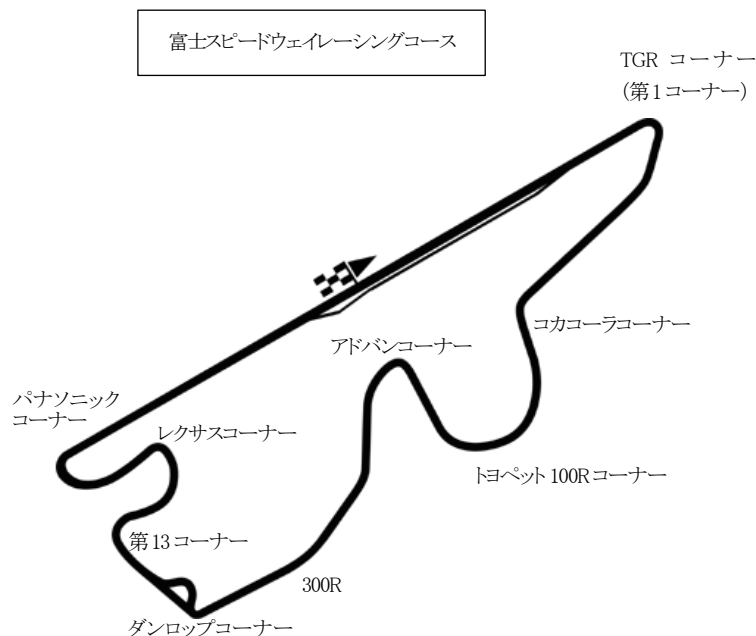
55周 (1周:4.563km×55周=250.965km)

富士スピードウェイレーシングコースについて

富士スピードウェイは、51年の歴史を誇る歴史あるサーキットです。

世界的に見てもとても長い、全長1.475kmのストレートが特徴の一つで、レース中のスリップストリームを使ったエキサイティングな追い越しを見ることができます。TGRコーナー(第1コーナー)は、メインストレートでスピードが乗った状態からのフルブレーキングによる進入が勝負所になり見どころの一つです。

また、アドバンコーナーから複合コーナーの300Rまでは、セッティング次第でダンロップコーナー手前の速度に大きな影響を及ぼします。シケイン形状のダンロップコーナーから、第13コーナー、レクサスコーナーの区間は、他のハイスピードエリアとは大きく異なり微妙なアクセルコントロールが必要です。最終コーナーのパナソニックコーナーの脱出速度が、メインストレートの最高速に大きく影響するため、丁寧に最短のライントレースが要求されます。



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 エントリーリスト

2018年5月15日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都	JMS P.MU/CERUMO・INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA RI4A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA RI4A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13	日本/埼玉県			
7	トム・ディルマン Tom Dillmann	1989/ 4/ 6	フランス	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA RI4A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
15	ダニエル・ティクトウム Daniel Ticktum	1999/ 6/ 8	イギリス	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naaki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	carrozzeria Team KCMG (カロツツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA RI4A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA RI4A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7	日本/広島県			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA RI4A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/ 8/25	イギリス			
50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	1986/ 12/ 9	日本/東京都	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	本山 哲	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

(車両: SF14、タイヤ: ヨコハマ)

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	22	11	0	10	1	0	0	0
2	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	21	2	0	8	11	0	0	0
3	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	13	5	0	0	8	0	0	0
4	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	11	8	0	0	3	0	0	0
5	36	中崎 一貴 Kazuki Nakajima	11	1	0	6	4	0	0	0
6	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	9	6	0	<u>3</u>	0	0	0	0
7	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	6	0	0	0	6	0	0	0
8	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	6	0	1	0	5	0	0	0
9	7	トム・ディルマン Tom Dillmann	5	0	0	5	0	0	0	0
10	64	ナレイン・カーディケヤン Narain Karthikeyan	4	0	0	4	0	0	0	0
11	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	4	4	0	0	0	0	0	0
12	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	3	0	0	3	0	0	0	0
13	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	3	3	0	0	0	0	0	0
14	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	2	0	0	0	2	0	0	0
15	4	山下 健太 Kenta Yamashita	1	0	0	1	0	0	0	0
16	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	0	0	0	0	0	0	0	0
17	37	J-ロシター James Rossiter	0	0	0	0	0	0	0	0
18	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	0	0	0	0	0	0	0	0
19	7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi	0	0	0	0	0	0	0	0
20	15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	0	0	0	0	0	0	0	0
21	15	阪口 晴南 Sena Sakaguchi	0	0	0	0	0	0	0	0
22	15	ダニエル・ティクトゥム Daniel Ticktum	0	0	0	0	0	0	0	0

*表中ポイント数字の 太字：優勝 下線：予選1位

チームポイントランキング

順位	No.	チーム	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	15 16	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	21	10	0	10	1	0	0	0
2	3 4	KONDO RACING (コンドーレーシング)	21	2	0	9	10	0	0	0
3	1 2	JMS P.MU/CERUMO - INGING (ジェームス ピーエムユーセルモインギング)	19	5	0	0	14	0	0	0
4	19 20	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトチュウエネクス チーム インパル)	16	8	0	0	8	0	0	0
5	36 37	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	11	1	0	6	4	0	0	0
6	5 6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	8	6	0	2	0	0	0	0
7	64 65	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	8	4	0	4	0	0	0	0
8	7 8	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコチーム ルマン)	7	0	0	5	2	0	0	0
9	18	carrozzeria Team KCMG (カロツェリア チーム ケーシーエムジー)	3	0	0	3	0	0	0	0
10	17	REAL RACING (リアルレーシング)	3	3	0	0	0	0	0	0
11	50	B-Max Racing team (ビーマックスレーシング・チーム)	0	0	0	0	0	0	0	0

*表中ポイント数字の 太字：優勝

*チームポイント：各チーム（エントリー）に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム（エントリー）に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台が得点対象となる。チームポイントには、予選1位のポイントは与えられない。

—開催概要—

- 大会名称 : 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦 富士スピードウェイ
- 開催日程 : 2018年7月7日(土) 公式予選
2018年7月8日(日) 決勝レース
- 開催サーキット : 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)
- 主催 : 富士スピードウェイ
FISCO クラブ (FISCO-C)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
Honda ワンメイクレース事務局(HORS)
- 同日開催 : 2018年 全日本フォーミュラ3選手権 第5戦/第6戦
N-ONE OWNER'S CUP Rd.9
WAKO'S スーパーカートカップ第4戦・富士チャンピオンシリーズ第2戦

【TV放映予定】

■ BSフジ 決勝戦生中継『2018スーパーフォーミュラ第4戦 富士スピードウェイ』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。ピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫した状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がレポートします。今大会は、解説者に現在スーパーGTでチーム ルマンの監督として活躍する脇阪寿一を迎え、鋭くまたわかりやすく解説をします。

○実況：ピエール北川

○解説：脇阪寿一

○ピットリポーター：松田次生、東(ひがし)美樹

○放送時間：2018年7月8日(日) 14:00～15:55

■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

SF14ラストイヤー、全戦2スペックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンテーターの小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。また、ゲストコメンテーターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りします。

番組に華を添えるのは、進行を担当する本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

《放送予定時間》

第4話： 2018年 6月 23日(土) 23:00～23:55

2018年 7月 1日(土) 26:30～27:25(再放送)

■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOALします。

詳しくは jsports.co.jp をご参照ください。

第4戦 富士スピードウェイ

予選 2018年 7月 7日(土) 14:20～(予定) J SPORTS 4 <生中継>

決勝 2018年 7月 8日(日) 13:45～(予定) J SPORTS 4 <生中継>

【映像の配信】

■ Yahoo! GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

[superformulavideo-YouTube](https://www.youtube.com/user/superformulavideo)

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

【海外配信/放送】

- motorsport.com (配信)
- motorsport.tv (放送)

【インターネット/SNS】

- オフィシャルWEBサイト
<http://superformula.net>
- 公式LiveTimingアプリ
i OS,Android 対応無料ライブタイミングアプリ「SUPERFORMULA」で検索
- スーパーフォーミュラオフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル Twitter #sformula
https://twitter.com/SUPER_FORMULA

【チケット情報】

- 前売観戦券(2日間有効)
大人:5,700円
ペア券(大人2名):10,300円
※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料
- 前売パドックパス
大人1名:16,000円(観戦料込み)
子供1名(小中学生):5,700円
※子供用パドックパスの前売はございません。レース当日にお買い求めください。
- 前売ピットウォークパス
予選日 大人1名:1,600円
決勝日 大人1名:2,100円
※中学生以下は保護者同伴に限り入場無料

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル
e-mail:media@superformula.net
Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135



2018 SUPER FORMULA

Round 4 Fuji Speedway

7.7 8



38



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第4戦

SF-9

SUPER FORMULA 決勝レース

2018/7/8 17:05



正式結果表

Weather : Cloudy

Track : Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Team	Engine	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap
1	3	Nick Cassidy	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	55	1:20'59.984	185.675		1'25.682	5
2	1	Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'04.270	185.512	4.286	1'25.810	4
3	2	Yuji Kunimoto	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'32.730	184.433	32.746	1'26.134	13
4	20	Ryo Hirakawa	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'35.290	184.336	35.306	1'26.023	13
5	36	Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'43.496	184.028	43.512	1'26.903	3
6	19	Yuhi Sekiguchi	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'48.553	183.838	48.569	1'26.401	4
7	8	Kazuya Oshima	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'48.981	183.822	48.997	1'26.844	7
8	16	Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	55	1:21'53.798	183.642	53.814	1'26.797	3
9	6	Nobuharu Matsushita	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	Honda HR-417E	55	1:21'57.424	183.507	57.440	1'27.006	7
10	7	Tom Dillmann	UOMO SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	55	1:21'59.643	183.424	59.659	1'26.894	15
11	15	Daniel Ticktum	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-417E	55	1:22'18.112	182.738	1'18.128	1'27.262	14
12	18	Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	55	1:22'25.649	182.459	1'25.665	1'27.125	12
13	17	Koudai Tsukakoshi	REAL SF14	Honda HR-417E	55	1:22'25.650	182.459	1'25.666	1'26.888	15
14	5	Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M5S SF14	Honda HR-417E	55	1:22'26.337	182.434	1'26.353	1'26.818	12
15	65	Takuya Izawa	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	54	1:21'16.401	181.682	1Lap	1'26.850	15
16	64	Narain Karthikeyan	TCS NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-417E	54	1:21'17.797	181.630	1Lap	1'26.739	15
17	50	Katsumasa Chiyo	B-Max Racing SF14	Honda HR-417E	54	1:21'18.930	181.588	1Lap	1'27.037	15
18	4	Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF14	TOYOTA R14A	53	1:18'57.307	183.549	2Laps	1'26.494	15
*119	37	James Rossiter	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	53	1:19'57.165	(1:18'57.165+60秒)		1'26.353	15

***** 以上完走 (規定周回数 49Laps) *****

Fastest Lap

1'25.682 (5 / 55) 191.718 km/h 3 Nick Cassidy / ORIENTALBIO KONDO SF14

Start Time :14:18'51 Finish Time :15:39'50.984

Entry :19 Start :19 Finish :19

*1 CarNo.37は、統一規則第15条1.1)2(衝突により他車のコースアウトを強いるもの)違反により、競技結果に60秒加算及びペナルティポイント1を科す。

計時委員長 視田 久仁一	大会競技長 堀 亨之	審査委員長 山本 一哉
-----------------	---------------	----------------

本大会にて実施したドーピング検査の分析結果により、JAFが競技結果成績に訂正を行うことがあります。